

競技注意事項

1. 本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

2022年1月1日にWA競技規則TR5の改正と、新たな「競技用靴に関する規程」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長及び競技役員はいつでもシューズチェックすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズはチェックや回収の対象になる。競技後にシューズの違反が認められた場合は審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。（スパイクピンのチェックは招集時に行う。）

靴底の厚さに関する規程(TR5.2)表

種目	靴底最大の厚さ TR5.5、TR5.2	要件・備考
フィールド競技（除：三段跳）	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

なお、本記録会は全フィールド種目で「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規程を適用除外する。

2. 入場について

正面スタンド1F及び2F入口を開放する。入場証は不要とするが各校顧問が入場者の把握に努めることとする。観戦は学校関係者のみとし、入場時や観戦中に各校との関係について確認を取ることがある。

3. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方（東側）の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する
- (2) 競技場内での練習は、競技開始の30分前までとする。ジョグはレーン外を使用し、1～2レーンは長距離ペース走用とする。その他のレーンについては下記のとおり。
 - ホームストレート：3～7レーン＝直線からのスプリント練習
 - バックストレート：3～7レーン＝リレー練習※リレーバトン練習は1→2走と3→4走は第2コーナー、2→3走は第3コーナーで行う。使用したリレーのマーク（テープ）は必ず取り除くこと。
- (3) 競技場内はメディスンボールなど、物を投げる練習は禁止とする。
- (4) 投擲・跳躍競技は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。

4. 招集について

※招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。

※下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

※混雑時にはマスクの着用を推奨する。

(1) 一次招集（室内練習場）

- ・トラック種目：競技開始時刻の 60 分前開始 30 分前完了
- ・フィールド種目：競技開始時刻の 90 分前開始 60 分前完了（棒高跳のみ 120 分前開始 90 分前完了）
- ・上半身競技服装（アスリートビブスを付けていること）、スパイクチェックを受け、腰ナンバーを受け取る。

(2) 二次招集（現地）

- ・トラック種目：競技開始時刻の 15 分前開始 10 分前完了
- ・フィールド種目：競技開始時刻の 50 分前開始 40 分前完了（棒高跳のみ 70 分前開始 60 分前完了）

(3) リレーについて

- ・オーダー用紙の提出締め切りは、**第 1 組の一次招集完了時刻の 60 分前**までに競技者係へ提出。
- ・リレーの一次招集は 4 人揃って受け、他種目に出場している時は、多項目同時出場届を提出すること。

(4) やむを得ず欠場する場合は、プログラムにある欠場届を競技者係へ提出すること。

5. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。
トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4x400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。
- (2) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近く（少なくとも長さの半分）で、4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3) トラック競技はすべてタイムレースとする。
- (4) トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らず、競技場内のバックスタンド前を通過してスタート地点に帰ること。
- (5) 競技エリア内に通信機器（携帯電話等）やビデオ撮影機器（タブレット等）を持ち込んではいならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (6) 集団での声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。
- (7) フィールド種目について
 - ① トップ 8 を行う。
 - ② 各種目で次の記録以下は計測しないことを原則とする（1 回は計測）。
 - 走高跳：男子 1m50 / 女子 1m25
 - 走幅跳：男子 5m20 / 女子 4m20
 - ③ 走幅跳は 1・3 組（メインスタンド前トラック側）、2・4 組（メインスタンド側）で行う。走高跳は第一曲走路内側のメインスタンド側を 1 組、バックスタンド側を 2 組とする。

④バーの上げ方は下記のとおりとする。※練習の高さは当日現地で決定する。

・走高跳 男子 1.50－1.55－1.60－1.65－1.70－1.75 - 1.80 以降 3cm ずつ

女子 1.25－1.30－1.35－1.40－1.45－1.50 以降 3cm ずつ

⑤投てき種目の計測は、ベスト記録のみを計測する。

⑥投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。

6. 競技場の使用について

(1) 横断幕・ノボリの設置は南北の芝スタンド(土盛スタンド)後方およびバックスタンド後方のみとする。

(2) 以下の箇所にはテントを設置しないこと。

①南北の芝スタンド(土盛スタンド)の中段より下

②メインスタンド中段通路より下側および記者席からフィニッシュ側すべてのエリア

※テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。

(3) メインスタンド記者席は座って観戦してもよいが、占有(場所取り)は禁止とする。

(4) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。

(5) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。

(6) 更衣室は競技者の更衣のみの利用とし、短時間で済ませシャワーは禁止とする。更衣室内ではマスクを着用し会話は控え、清潔に使用し私物を置かないこと。

7. 免責事項について

(1) 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。

(2) 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

(3) Jアラート警報が発令された場合は、競技を中断する場合がある。

8. その他

(1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。

(2) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。

(3) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。(記録ボードは設置しない。)

(4) 撮影は許可証(正面2F入口で発行)を必要とし、当該生徒のみの撮影とする。

(5) 混雑する場所ではマスク着用を推奨する。

(6) 声を出して応援するときは、前後の間隔に配慮すること。

(7) 盗難が発生しているため貴重品等の持ち物の管理は各校・各自で注意すること。

(8) 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミはすべて各自持ち帰ること。

(9) プログラム記載の個人情報(氏名、学校名など)大会結果は、大阪陸上競技協会のWEB サイト(大阪高体連陸上競技専門部 3・4 地区)に記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。